企　画　・　デ　ー　タ　ヘ　ル　ス　推　進　グ　ル　ー　プ

1　おおさか健活１０推進プロジェクト事業の推進

予　算　額　　７１，８２５千円

決　算　額　　５７，４１５千円

(1)　オール大阪による健康づくり推進事業

①　府民の健康づくり気運醸成事業

予　算　額　　１３，２２２千円

決　算　額　　　４，５０６千円

オール大阪での健康づくり推進活動のキャッチコピーである「健活１０」〈ケンカツテン〉を広く府民に周知することを通して、府民の主体的な健康づくりに向けた気運の醸成を図るもの。

SNSを活用した健康づくりの実践を促すキャンペーンの展開、及びアスマイルを活用したウォーキングイベントを実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大のため規模を縮小して実施した。

　　SNSキャンペーン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組み（期間） | 概要 | 参加者数 |
| 第１弾　フォロー＆リツイートキャンペーン  （8/23～9/10） | 健活10公式Twitterアカウントのフォロー&リツイートで、健活応援グッズを抽選でプレゼント | 1,402人 |
| 第２弾　「#ぼちぼち健活」VS「#めっちゃ健活」キャンペーン   1. 9/21～10/22） 2. 11/1～11/29） | 健活10公式Twitterアカウントのフォロー&リツイートと併せて、ハッシュタグ「#ぼちぼち健活」か「#めっちゃ健活」をつけた写真の投稿で、健活グッズを抽選でプレゼント | 1. 189人 2. 270人 |

　　ウォーキングイベント

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 実施場所 | 参加者 |
| 10/16,17 | 万博記念公園 | 405人 |
| 10/16～11/14 | 浜寺公園 | 463人 |
| 2/26～3/21 | 服部緑地 | 612人 |
| 山田池公園 | 305人 |
| 深北緑地 | 294人 |
| 大泉緑地 | 448人 |

②　健活おおさか推進府民会議関連事業

予　算　額　　４，６１７千円

決　算　額　　３，３６６千円

企業、保健医療関係者、医療保険者、市町村等、多様な主体との連携・協働を通して事業を展開し、オール大阪での健康づくりの気運醸成を推進した。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健活おおさか推進府民会議の運営 | ・市町村や企業・保健医療関係団体等を中心に参画を呼びかけ、これまで190団体が入会（3/24時点）  ・実行委員会の開催  ・会員間の連携・協働の促進や情報提供・情報交換を目的とした会員向けメールマガジンの発行 |
| 総会の開催 | ・市町村や企業・大学の取組み事例発表をオンラインで開催  （参加者：82人（67団体）、録画動画平均視聴回数：178回） |

③　府政だよりによる啓発事業

予　算　額　　４，８００千円

決　算　額　　４，６１９千円

府民の健康課題や健康づくりの重要性を広く発信し啓発するため、府政だより９月号に「健活10（食／運動／けんしん／たばこ）」について掲載した。

(2)　健康キャンパス・プロジェクト事業（若い世代の健康づくり推進事業）

予　算　額　　２，４６３千円

決　算　額　　１，４９２千円

府内大学と連携し、各大学の健康課題等を踏まえたテーマで健康セミナー等を実施することで、若い世代の健康意識の向上を図った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施大学 | 実施内容 | 参加者数等 |
| 大阪大学 | 「食事と健康のトピックス」「健康と痩せ」のテーマについて学生向けの講座を開催 | 学生約30名 |
| 大阪市立大学 | セミナー（ワクチン/腸・筋肉）と体の状態等の測定会（体組成/骨密度/血管年齢/栄養バランス/野菜摂取量）を開催 | 学生・教員  ・地域住民  約210名（のべ） |
| 大阪府立大学 | アスマイルを活用して、大学生の健康的な生活習慣の定着に向けた研究を実施 | 学生12名 |
| 関西大学 | 経済学部のゼミと連携し、学生が自分たちで設定した健康課題（ヘルスリテラシー/食生活/スマホ使用/新型コロナワクチン等）について考える授業を実施 | 学生24名 |
| 近畿大学 | 「睡眠」と「女性の健康」のテーマについて講演会を開催 | 学生・教員  約400名 |
| 桃山学院大学 | 経営学部２年生が全員参加する科目と連携し、「健康的な学食メニューの提案」をグループで検討・発表 | 学生211名 |

(3)　中小企業の健康づくり推進事業

予　算　額　１０,３４７千円

決　算　額 　７，５９７千円

府内中小企業を対象に、職場における健康経営に係る取組みを支援するために、府内健康経営優良法人認定法人への取材を行い、企業における健康づくりの取組みを「健康経営OSAKAレポート」として広く情報発信し、普及啓発を行った。

また、職場の健康管理などに関する「健康経営セミナー」をオンラインで開催するとともに、従業員の健康づくりにつながる優れた取組みを行う企業等を表彰する「健康づくりアワード」を実施し、健康経営の普及啓発を行った。

また、府民を対象に、健康課題に応じたテーマを設けた「健活おおさかセミナー」をオンラインで開催し、府民の健康づくりへの関心向上を図った。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健康経営OSAKAレポート | 健康経営優良法人認定法人８社を取材し、事例集（冊子）を作成した。健活10ポータルサイトでも各社の事例紹介ページを作成し公開 |
| 健康経営セミナー | オンラインセミナー３回開催　開催テーマ等詳細は下記参照 |
| 健康づくりアワード | 職場部門 最優秀賞１団体、優秀賞２団体、奨励賞６団体  地域部門 最優秀賞１団体、優秀賞１団体、奨励賞７団体  を表彰（応募団体数52団体） |
| 健活おおさかセミナー | オンラインセミナー５回開催　開催テーマ等詳細は下記参照 |

健康経営セミナー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日付 | テーマ | ライブ配信(視聴者数) |
| 第１回(8/20) | ・企業の未来を創造する健康経営の基礎講座  ・事業継続に活かす健康診断 | 156 |
| 第２回(9/10) | ・「健康経営優良法人2022」について  ・「健康宣言」を活用して認定へ  ・大阪府の健康経営推進の取組み | 379 |
| 第３回(3/8) | ・健康経営を進めるために  ・自社の健康課題とその解決法  ・企業の取組事例発表 | 264 |

健活おおさかセミナー

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付 | テーマ | ライブ配信  (視聴者数) | 録画配信  (延べ視聴者数) |
| 第１回(9/28) | コロナに負けない食生活と健康なからだづくり | 150 | 1,875 |
| 第２回(10/9) | 自宅でできるレジスタンス運動とバレエエクササイズ | 132 | 2,181 |
| 第３回(11/2) | 知っておきたい！女性のライフステージとがん検診 | 129 | 1,766 |
| 第４回(11/20) | オーラルフレイルと新しい口腔ケア | 111 | 2,072 |
| 第５回(12/10) | うまくつきあう、コレステロール！ | 117 | 2,142 |

(4)　健康格差の解決プログラム促進事業

予　算　額　３６，３７６千円

決　算　額　３５，８０４千円

①　特定健診受診率向上に向けた、市町村をフィールドとした受診勧奨を支援するツールの開発を行った。

（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| AIを活用した受診率向上対策支援ツールの開発 | 複数の自治体の受診勧奨プロモーション内容及び対象者の健診データを用いて、健診受診行動をより促進させるプロモーション内容や対象者の健診結果及び生活習慣の項目を明らかにすることを目的に分析を実施。さらに、これら解析結果を基に、健診受診者の過去のデータから翌年の健診受診行動を予測するAI予測モデルを作成した。 |

　②　特定保健指導実施率向上に向け、保健師等の保健指導実施者に対してスキルアップ研修会を実施

するとともに、過年度に作成した効果的・効率的な保健指導実施の支援ツールを更新した。

（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 保健指導に必要な知識の習得のための研修（ワーキング） | 【回数（日程）】2回（①9月6日、②2月22日）  【場所】ハイブリッド  ①CIVI 北梅田研修センター  ②グランフロント  【参加人数・市町村数】226人（①117人・37市町村、②109人・39市町村） |
| 健康格差の解決プログラム促進事業[保健指導]管理職対象研修会 | 【回数（日程）】1回（1月20日）  【場所】ハイブリッド/AP大阪茶屋町  【参加人数・市町村数】49名・30市町村 |
| ツール等によるプログラム  （暫定版）の更新 | 下記５つのツール等によるプログラム（暫定版）の更新  ・保健指導優先度判定ツール  ・健診結果帳票作成ツール  ・保健指導リスク評価ツール  ・保健指導資料集  ・保健指導記録表入力ツール |

　③　働く世代からのフレイル予防の取組みを府内市町村等で展開するため、研修会の実施や啓発ツ

　　ールを活用したフレイルチェックの導入を支援した。あわせて働く世代からのフレイル予防につ

いて府民への周知を行った。（委託先：国立医薬基盤・健康・栄養研究所）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組み | 概要 | | |
| フレイルチェックの導入支援 | 市町村名 | 時期 | 内容 |
| 熊取町 | 5月 | 特定健診335名 |
| 阪南市 | 6・9・12・3月 | 健康教室65名 |
| 寝屋川市 | 7・11月 | 商工会議所定期健診時4名、事業所での啓発50名 |
| 堺市 | 8・10・12・1月 | JA健康診断時24名、乳がん集団健診時42名、堺市生涯学習まちづくり出前講座58名、商工会議所健診後82名、54名、職員対象体力測定会25名 |
| 田尻町 | 11月 | 健康応援講座13名 |
| 四條畷市 | 11月 | 健康寿命延伸啓発イベント114名 |
| 貝塚市 | 11、1月 | 特定健診後57名、66名 |
| 交野市 | 11月～ | 特定健診案内に同封917名、フレイル予防教室60名 |
| 泉南市 | 1月 | 特定健診後34名 |
| 35市町村 | 9月 | 行動変容推進事業フォローアップ研修会67名 |
| フレイルの状況調査 | 1月20日～2月7日アスマイルユーザーに対し、アンケート機能を活用して調査を実施（回答22,532人） | | |
| フレイル啓発 | ２月1～28日  健康サポート薬局での啓発（フレイルチェック協力123店舗） | | |

2　健康づくりに関する連携体制の整備

(1)　健活おおさか推進事業

予　算　額　１９０千円

決　算　額　１９０千円

大阪府健康増進計画に掲げる目標達成に向けた府民の健康づくりを推進するため、健康づくり推進条例に基づき設置した「健活おおさか推進府民会議」を軸として、健康づくりに関わる団体と連携・協働して健康づくりの気運醸成を図った。

(2)　地域・職域連携推進事業

予　算　額　３，５２２千円

決　算　額　　　６６９千円

生涯を通じた健康づくりを支援するため、行政、事業者、医療保険者等の関係機関による「地域職域連携推進協議会」を運営し、「第３次大阪府健康増進計画」に関する進捗報告を行った。

地域特有の課題については、保健所圏域地域・職域連携推進事業において検討し、関係機関との連携を図りつつ、対策を推進した。

※新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた計画を縮小及び変更して実施した。

(3)　地域医療連携事業

予　算　額　２，６２８千円

決　算　額　　　２４２千円

地域において、複数の医療機関が疾患別に形成する診療ネットワークにより、二次医療圏における脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病について地域特性に応じた医療連携体制の充実を図った。

※新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた計画を縮小及び変更して実施した。

(4)　精度管理基礎調査

予　算　額　５，４１４千円

決　算　額　５，４１４千円

府内における検診を円滑に推進するため、特定健康診査等の健康診査及び子宮がん検診における検診実施機関、検査機関の検診精度管理調査を（一社）大阪府医師会に委託して実施した。

3　循環器疾患の予防対策（（公財）大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター委託）

予　算　額　１０１，５１４千円

決　算　額　１０１，５１４千円

(1)　市町村国民健康保険、後期高齢者医療制度の医療費データ及び市町村国民健康保険における特定健診・特定保健指導データ、協会けんぽ大阪支部の特定健診データから医療費及び疾病の構造分析を行った。

(2)　市町村における保健事業を効果的に進めるため、汎用性の高い行動変容プログラムの改修、データを活用した保健事業の創出と事例収集、保健従事者等に対する研修会の開催を通じ、技術的支援を行った。

(3)　特定集団の健康状況に係るデータを追跡・調査し、蓄積されたデータに基づき、循環器疾患の予防対策に活用した。

(4)　府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能として、循環器疾患の予防に関する情報発信等を行った。

4　健康増進事業の促進

予　算　額　　２９４，１６８千円

決　算　額　　２５６，１２３千円

　市町村が実施する健康増進事業に要する経費について、所要の補助金を交付した。

○根拠法令等

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　健康増進法第１７条、第１９条の２